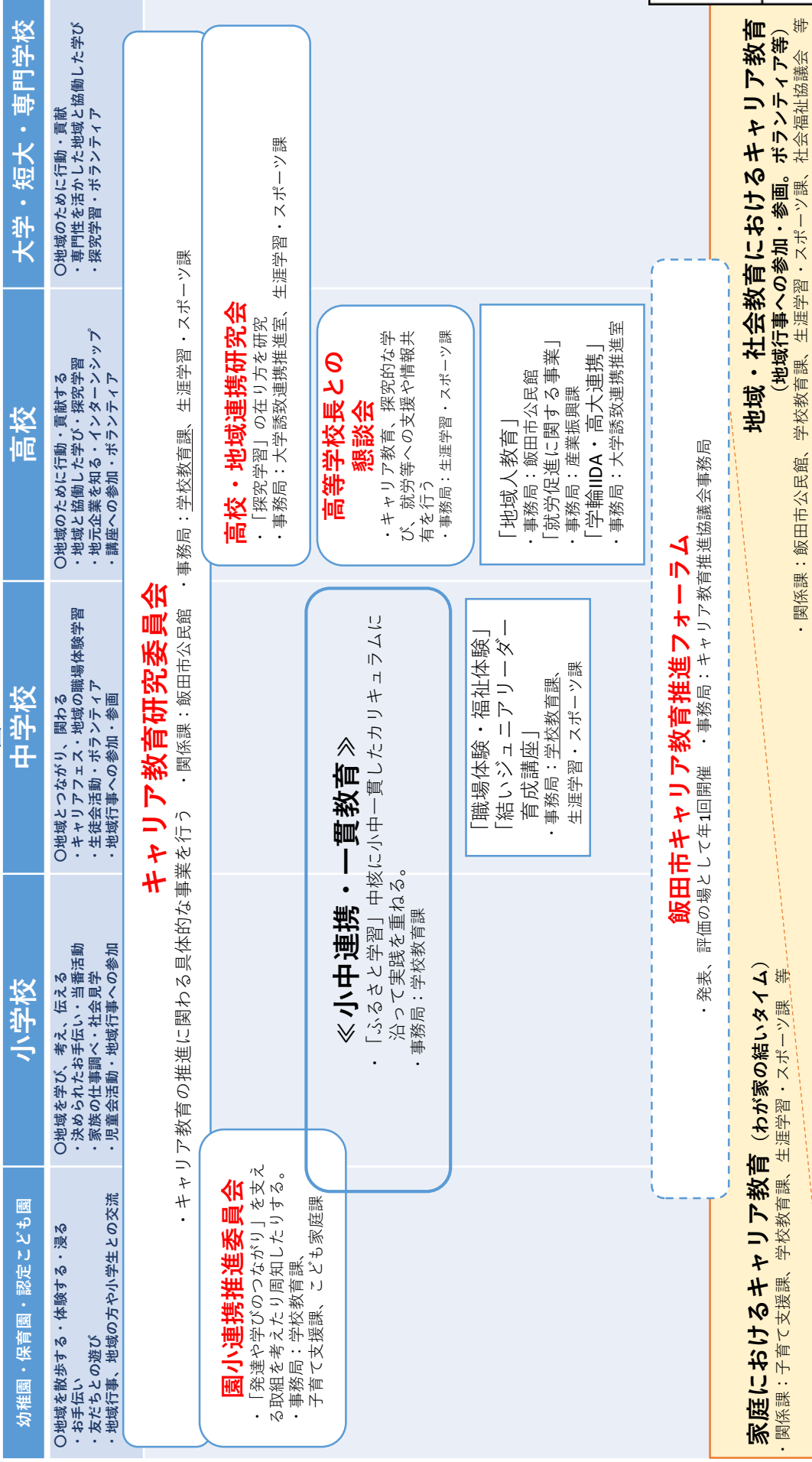


R5 「飯田型キャリア教育を軸として、地育力を活かした幼児期から高等教育期まで一貫した人材育成」の推進体制

飯田市キャリア教育推進協議会

- ・キャリア教育推進に関する
 - ①基本的な方針の策定
 - ②評価及び検証
- ・事務局：生涯学習・スポーツ課、学校教育課

- キャリア教育推進コーディネーター
(教育支援指導主事)
- 生涯学習・スポーツ課に在籍し、キャリア教育全体の事業調整を行う



地育力で私と地域の未来をひらく「飯田型キャリア教育」の全体像（イメージ）

R5年度 飯田市教育委員会

教育ビジョン：地育力による 未来をひらく ころ豊かな人づくり
 *地育力：飯田の資源を活かして飯田の価値と独自性に自信と誇りをもつ人を育む力
 変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、地球規模で物事を考える広い視野と、生まれ育った地域に誇りと愛着を育むことが大切だと考えています。「地育力」を活用したふるさと学習や体験的な学びを軸とした「飯田型キャリア教育」を幼児期から高等教育期まで、発達段階に応じて切れ目なく推進していきます。「飯田型キャリア教育」では、自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあっていくための力を育み、ふるさとを心根に、未来の地域の担い手や地域を支える人（ふるさとへのよさに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人）づくりを目指します。

飯田型キャリア教育で育みたい4つの力
 ■人とつながる力(結いの力) 例：自己表現力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、チームワークなど
 ■自分を見つめ夢や希望を描く力(みつめる力) 例：自己の役割理解、前向きに考える力、忍耐力、主体性など
 ■課題をもって最後までやり抜く力(うごく力) 例：情報収集・課題発見力、計画力、実行力、評価・改善など
 ■職業や仕事について興味や関心をもつ力(みとおす力) 例：学ぶこと・働くことの意義や役割、多様性の理解など
 ふるさとへのよさに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人

【事例③】竜峡中学校
 ■「ふるさと竜峡を愛し、自ら考え、たくましく生きる子どもの育成」を目指し、全校で「地域と共に歩む活動」に取り組む。
 ・1年「農業体験」「ふるさと学習」…3地区の文化を「知る→体験→納得」し、地域への理解や愛着を深めていく。
 ・2年「職場体験」…「やりがいとは体験しないとわからない」職場の方とのつながりから、職業観の広がりや深まりを実感
 ・3年「福祉体験」
 ・全校「キャリアフェスティバル」…地域への参画・貢献への意識が高まる生徒たち。



【事例①】殿岡保育園
 ■飯田市の自然を生かした「いいだ型自然保育」
 ・ツマグロヒョウモンとの出会う、子どもの気づきやつぶやきから広がる活動。子どもたちの知りたいという意欲を大事に、命の大切さや神秘性を考えられる子が育つ。
 ■遊びや地域の方と触れ合いで、たくさん心と身体を動かす。
 ・困った時は「田んぼのおじさん」に聞こうとする子どもたち。
 ・保育士が地域の自然環境にアンテナ高く、子どもの成長を見守り記録していく。



【事例⑤】飯田女子短期大学
 ■家政学科家政専攻デザイン有志学生
 ひさかた和紙の方とのコラボレーション
 ・「ひさかた和紙」に伝統的な技法摺込(すりこみ)でランチョンマットを製作。様々な場所で行ったつながり飯田の魅力を発信していく。小学生とも交流。

【事例④】飯田 OIDE 長姫高等学校
 ■「地域人教育」として商業科3年駅前班による「XR、襲来 スマートグラスを用いた飯田市への移住・定住促進に関する研究」
 ・問い→仮説→調査実証→考察→次の問いという研究手法で地域課題に取り組む。

【事例②】丸山小学校
 ■地域と獅子舞(3年)
 ・地域の「羽場大獅子」「東野大獅子」について「見て、聞いて、触れて」地域の方と関わり本物に触れる。運動会や文化祭で発表、丸山保育園との獅子舞交流等で、地域の歴史や文化を学び、郷土に誇りを持ち、自己の成長や思いやりの心が育っていった。
 ■身近な人との仕事調べ(6年)
 ・家族の仕事調べ、実際に職場体験を通して新たな職業観をもち、家族への感謝や自己の生き方を考えるようになった。

《例》地域学習素材から発展する探究事例：○蝶に興味(園)～○蝶の採集や生態(調べ学習)[小]～○農業体験(自然に携わる方との出会い)[中]～○環境問題の調査・提言[高]～スパイラルに進行していく

園・小・中・高が一貫した理念で飯田型キャリア教育を推進し、産学官が協働することで持続可能な社会づくりの担い手である人材育成につなげる。 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

各学校段階におけるキャリア教育推進の主なポイント (文部科学省・長野県教育委員会)

<p>幼稚園 保育園 こども園 人格形成の基礎となる豊かな心情、物事に自分から関わろうとする意欲や健全な生活を営むために必要な態度等を養う</p>	<p>小学校 働くことの大切さの理解、興味関心の幅の拡大等、社会性、自主性自律性、関心意欲等を養う</p>	<p>中学校 社会における自らの役割や将来の生き方、働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く</p>	<p>高等学校 生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成し、これを通じて勤労観・職業観等の価値観を自ら形成・確立する</p>	<p>高等教育(大学・短大・専門学校) 学校から社会・職業への移行を見据えて、自らの視野を広げ、進路を具体化し、それまでに育成した社会的・職業的自立に必要な能力や態度を伸張・深化させる取組を教育課程の内外で充実</p>
---	---	--	---	---

※ 使用している事例は令和4年度の取組です。

令和5年度 飯田型キャリア教育に関わる高校生意識調査の結果

- ・高校生対象の調査はH27年度以降実施していなかったが、R4年12月に飯田下伊那8高校の全校生徒対象に実施した。
(H27は郡内高校の各学年1学級ずつを任意抽出調査)
- ・質問1については、飯田市独自の質問で、質問2,3については、小・中学生対象に実施している全国学力・学習状況調査の質問項目を、高校生の発達段階に応じた内容にするために、市内高等学校長と検討して決定した。
- ・回答項目は県が行う高校生対象に実施する「学びの指標」に合わせて5つとした。
①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない ⑤回答できない・回答したくない
- ・回答時期:11・12月 ・対象:高校生全員〔市内5校と飯田下伊那8校に分けて集計〕 市内小学6年、市内中学3年

問1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着を感じていますか

R5	①	②	③	④	⑤
市内5校	31.8	49.7	11.3	5.3	1.9
	81.5		16.6		1.9
郡内8校	32.0	49.9	10.8	5.4	2.0
	81.9		16.2		2.0

R4	①	②	③	④	⑤
市内5校	34.2	47.2	10.9	4.3	3.4
	81.4		15.2		3.4
郡内8校	34.5	46.5	10.8	4.6	3.6
	81.0		15.4		3.6
H27郡8校	28.3	46.7	1.4	0	23.6
	75.0		1.4		23.6

問2 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思いますか

R5	①	②	③	④	⑤
市内5校	15.2	47.0	24.9	9.0	3.9
	62.2		33.9		3.9
郡内8校	14.0	49.1	24.2	9.1	3.6
	63.1		33.3		3.6

R4	①	②	③	④	⑤
市内5校	14.6	47.4	23.8	9.0	5.2
	62.0		32.8		5.2
郡内8校	14.2	48.2	24.0	8.5	5.1
	62.4		32.5		5.1

参考:ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着(好きな気持ち)を感じていますか

R5	①	②	③	④	⑤
R5市小6	51.4	35.7	3.8	2.2	6.9
	87.1		6.0		6.9
R5市中3	41.2	43.1	6.3	3.8	5.7
	84.3		10.1		5.7

R4	①	②	③	④	⑤
R4市小6	52.1	32.3	5.3	1.9	8.4
	84.4		7.2		8.4
R4市中3	39.2	36.9	7.9	4.7	11.3
	76.1		12.6		11.3

問3 地域(社会)と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来について考えることがありますか

R5	①	②	③	④	⑤
市内5校	16.6	37.7	26.8	15.3	3.5
	54.3		42.1		3.5
郡内8校	16.1	38.4	27.4	14.9	3.2
	54.5		42.3		3.2

R4	①	②	③	④	⑤
市内5校	14.7	38.0	28.4	14.6	4.3
	52.7		43.0		4.3
郡内8校	14.9	38.5	28.3	14.0	4.3
	53.4		42.3		4.3

考察

- ・全ての質問について、高校生の「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答は、令和4年度と比較して微増している。これは、小・中学校において、地育力を活用した、地域の人・もの・ことに触れる学び等を行ってきたことや、高校においては「総合的な探究の時間」への取組が本格的に始まった成果ではないかと考える。さらにR5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な学習や地域活動、交流の機会が増えてきたこともあるのではないかと考える。

《参考》

小・中学校の経年変化

＜飯田市独自の質問＞

問1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着(好きな気持ち)を感じていますか

*「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合

	R5	R4
市小6	87.1	84.4
市中3	84.3	76.1

考察

- ・中学3年生の肯定的な数値は84.3%で、R4年度より8.2ポイント伸びている。R4年度は高校生の肯定的な数値の方が中学生の数値より高かったが、R5年度は中学生の方が上回る結果となった。
- ・コロナが5類になり、地域と関わる活動が戻ってきたことも一因として考えらえる。

＜全国学力・学習状況調査の結果＞

問2に関連 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (R4まで)

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (R5より質問内容が変更)

*「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合

	R5	R4	R3	R1
市小6	80.9	52.3	52.6	55.9
県/全国	81.2/76.8	56.5/51.3	57.1/52.4	57.0/54.5
市中3	70.8	39.0	48.4	40.0
県/全国	68.8/63.9	46.0/40.7	49.2/43.8	43.9/39.4

問3に関連 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

*「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合

	R5	R4	R3	R1
市小6	96.1	95.3	95.8	95.5
県/全国	96.2/95.9	95.6/95.1	95.9/95.5	95.3/95.2
市中3	95.6	94.9	96.5	95.0
県/全国	94.5/94.6	95.3/95.0	95.4/95.0	94.8/94.3

考察

- ・問2については、R5年度より質問内容が変わったことで、結果に大きな影響が出ており、肯定的な意見が大きく伸びた。小学校6年生は、全国平均よりは高く県平均よりは低い傾向は R4年度と同じであるが、その差が小さくなっている。中学3年生については、R4年度は全国、県平均より低く、特に県平均と比べて7ポイントの差があったが、R5年度は全国、県平均よりも高くなっている。児童・生徒が、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う気持ちがあると分かったので、引き続き地育力を活用した体験的な学びを進めていくとともに、探究的な学びを大事に取り組んでいきたい。
- ・問3については、高い数値で推移しているので、引き続き、様々な教育活動を通して育てていく。

令和5年度 各校体験活動一覧

学校名	実施内容	実施学年	体験期間	体験人数	参加事業所数等	備考
飯田東	繋・未来フェス	全校	6月21日(水)	190	24ブース	SYMS本店支部、橋北支部を中心に丘の上にある企業様の協力を得て実施。本校では3年間かけてさまざまな企業のお話を聞くことで、将来についての見通しをもてるようにしていく。
	職場体験学習	2年	7月10日(月)～11日(火)	66	37事業所	指示されたことなどに、誠実にしっかりと取り組むことができた。学校では学べない体験をすることができた。
	福祉体験学習	3年	7月10日(月)～11日(火)	67	32事業所	直前で受け入れできなくなった事業所もあったが、生徒にとって学びの多い体験になった。
飯田西	かざこし学習発表会	全校生徒 + 丸山小6年生	11月2日(木)	295		丸山小6年生が西中に来校し、四学年の縦割り班で、各々が「総合的な学習の時間」の学びの成果を発表した。発表後には、活発な意見交流や質疑応答が交わされた。友の学びを知ったり、自己の学びの足あとを確かめたりする充実した時間となった。
	職場体験学習	2年	7月24日(月)～26日(水)	73	29	生徒の職場への電話連絡、履歴書の送付、帰宅連絡等を省略し、そのかわりマネージャーを重点的に指導した。職場からのアンケートには、生徒の取り組みはともよかったですと好評だった。
	地域貢献探究学習	3年	7月24日(月)～26日(水)	75		義務教育最終年度に地域へ恩返しする学習を生徒主体で行った。地域と懇談をもち、ニーズに応える活動として、ゴミ拾いや保育園との交流を行った。また、中学生が核となり、地域の方との交流するイベントを企画した。生徒が主体的に地域と関わる有意義な学習となった。地域に次年度以降の継続が期待されている。
緑ヶ丘	ふるさと学習	1年	11月7日(火)	240	学級別で実施 (市内7か所)	各学級でテーマや題材を選択し、調べ学習等を重ねながら、当日は現地で活動をしたり、講師をお招きしての体験学習を行ったりした。(テーマ：リニア、焼肉、市田柿、ほっとアップル、飯田動物園、飯田線、空き家リノベ)
	職場体験学習	2年	7月19日(水)～21日(金)	211	71事業所	コロナ明けということもあり、実施できる事業所や職種に余裕がなかったため、生徒の事業所選定に苦労した。
	結い未来プロジェクト	2年	11月6日(月)	205	7事業所	公民館(松尾、竜丘、下久堅)の主事に協力をいただき、参加事業所を決定した。また、飯田信用金庫さんの関連組織『シームス』さんのご紹介で参加していただきました事業所もあった。

竜東	ふるさと学習	1年	5月18日(木) 7月12日(水)	19	3事業所(5月) 2事業所(7月)	・ふるさと学習として学区の魅力を発見。その際、3事業所(うち公民館1)で説明を受ける。(5月) ・地域の産業の見学(7月)
	職場体験学習	2年	7月12日(水)～14(金)	20	16事業所	生徒の希望に沿えるよう、多くの職場を市教委に用意して頂きありがたかった。自分の希望する職場を体験でき、事前学習、体験、まとめと前向きに取り組み始める生徒が多かった。
	福祉体験学習	3年	7月12日(水)	25	1事業所 園師1名	・Lサポート(障害者サポート施設)作業及び施設の説明 ・手話講話・体験
竜峡	キャリアフェス	全校	7月20日(木)	145	9	生徒のアンケート結果と実行委員の生徒の意向、教員の意向を公民館主事に伝え、職場を募集してもらった。進行や準備、講師の方のサポートなど当日の運営は実行委員の生徒が行った。
	竜峡タイム	全校	4月～11月	145		本校の総合的な学習の時間の形態のひとつで、縦割り6講座に分かれて学習している。講座ごとに地域の方をお呼びして車椅子体験や五平餅作りといった体験学習や、地域に向いてゴミ拾いと観光施設の掃除を行うなど、地域の方と交流しながら体験活動を実施した。
	ふるさと学習	1年	7月12日(水)～14日(金)	49	4	校区である3地区それぞれの資料館や学習館、観光地等を見学し、地域の方からその場所の歴史や魅力などをお話しいただいた。
	職場体験学習	2年	7月12日(水)～14日(金)	51	28	市の幹旋以外に「天竜峡総合学習館かわらんべ」でも体験学習を行った生徒がいた。コロナウイルスの影響で体験場所の変更があった。
	福祉体験学習	3年	7月12日(水)～13日(木)	45	23	コロナウイルスの影響で体験場所の変更があった。
	キャリアフェスティバル	2年	9/1(金)	170	13ブース	「キャリアフェス実行委員会」を立ち上げ、各クラスから2名ずつ委員を選出した。委員と伊賀良、山本の公民館主事とで検討を重ね、学区を中心にした飯田市内の各事業所に協力を得て、各職種の仕事について話をしていた。夏休みをはさみ、生徒と公民館主事との会合があまりとれず、教師主導になった面が反省点である。
旭ヶ丘	職場体験学習	2年	10/19(木)～20(金)	153	74事業所	3年振りに実施できた職場体験学習で、どんな活動があまり具体的なイメージが持てない生徒がいた。活動中はとてもいい表情で活動できたとし、活動後の感想も学んだことが多かったことが分かったが、あいさつや声の大きさ、学ぶ意欲などの面で事業所からの評価が低かった。あいさつや態度の重要性などを事前学習の中でもう少し扱っておくべきだった。

県	職業出前講座	1年	10/31(火)	105	12事業所	県地区内の事業所の協力を得て、講師を派遣していただきお話を聞き、働くことの大切さや意義についての考えをより深めることができました。
	地域発掘プロジェクト	2年	10/31(火)	97	10事業所	学級ごとに、飯田下伊那地域について調べて体験コースを決め、1日体験学習を行い、地域の魅力について再確認したり、新たに発見したりした。
	職場体験学習	2年	7/4(火)～6(木)	97	42事業所	職場ごと、生徒は職場の方の指示を聞き真剣に取り組み、事後はお礼状と職場体験学習新聞の作成をしっかりやり遂げた。毎日の帰宅連絡の方法が課題である。
	出前福祉講座学習	3年	7/6(木)	118	6講座	飯田市、社会福祉協議会の協力のもと講師を派遣していただき、一人一講座だった体験学習を行うことで、福祉についての考えをより深めることができた。
高陵	キャリアアセス	1・2年	10月20日(金)	340	40	公民館にも協力をお願いして、係職員が参加企業を募った。学年合同リハや当日の運営では、実行委員や講座リーダーの生徒たちが積極的に活動することができた。
	職場体験学習	2年	8月22日(火)～24日(木)	174	67	飯田市のリストを元に、学年職員が事前連絡をして事業所を決定した。体験の日程や持ち物などは、担当生徒が直接電話連絡で確認して当日を迎えることができた。希望する職場が飲食および医療関係に集中したので、調整が難しかった。
遠山	地域の方に学ぶ会	全校	10月27日(金)	24	3	遠山郷内から講師の方をお招きし学習会を行った。「農業講座」「林業講座」「郷土料理講座」に分かれ、遠山地区の特色や地域の材料を使った体験活動を行う中で地域の方や先生方の思いを学んだ。地域のことを学ぶとともに自分の生き方を考える機会となった。
	職場体験学習	2年	8月29日(火)～31日(木)	7	7	飯田市教育委員会から提示された職場体験学習受け入れリストをもとに、実習場所を割りふり活動を行った。また、遠山郷内でも実習先の開拓を行い、実習を行った。事前学習を十分に行って活動にのぞみ、多くの職場から高い評価を得ることができた。「働く」ということを体験するいい機会となった。
	福祉体験学習	3年	8月29日(火)	7	1	上村デザイナー事務所等で実習を行った。あらかじめ企画したことを中心に活動を行い、お年寄りの方との交流活動を行った。生徒が自主的にお年寄りの方に話しかけたり、相手を考えて行動したりする姿が見られた。

(1) 事業所アンケートから〔189事業所中136事業所より回答〕

1 学校（教職員）との連絡調整において、問題・課題に感じたことはありませんか？

①特に問題はない 123件(91%) ②連絡の行き違いがあった 4件(3%)

②の内容から

・受け入れられる生徒さんが、配慮が必要な生徒さんということもあり、配慮する点等の打合せの機会が欲しいと学校側においていたが、電話連絡のみに終わってしまっており、実際に生徒が戸惑うことがあった。弊社は製造業という点で騒音・匂い等がある現場もある。生徒さんによっては音が苦手、匂いが合わないなどあると思う。企業側も受け入れる際に際して配慮をある程度決定するなど体制を整えておきたい意向があるので、今後は事前打ち合わせの機会をつくっていただけたらありがたい。

・できれば学校側から見た生徒の特性を教えてください。例えば、今回来た生徒の一人は不登校だった。たまたま別の方から情報を得たので、それを踏まえたい対応ができた。もし知らなければ、不登校の生徒に対して、不登校の話題を積極的にする危険性があった。

2 貴社にとって、メリットと感ずることはどのようなことですか？（複数回答可）

①子どもたちが当社の仕事に関心を持ってくれる 123件 ②未来の後継者・担い手が育つきっかけになる 90件

③最近の子どもたちの考え方に触れることができる 89件 ④従業員が刺激され、緊張感が出てくる 46件

⑤CSR・地域貢献の取組として、地域や取引先からの好感度が上がる 46件 ⑥社内の雰囲気良くなる 30件 他

3 工夫されたこと

①社内への周知を図った 103件 ②社内案内、安全確認等のオリエンテーションを実施した 59件 ③生徒を朝礼や会議などに参加させた 52件

④生徒に自発的に考えさせる場面を与えた 47件 ⑤受け入れプログラムを作成した 41件 他

4 その他ご意見・ご要望

○「あまり普段関わらない会社だけれど、一緒に仕事をしてみても大切な仕事だと感じた」と言ってくれて、生徒を受け入れて良かったと感じた。

○先生から個別の心配な生徒さんについて事前に情報をいただいたが、2名とも問題なく体験することができた。どうしてこの仕事にしたのか、中学のうちに頑張ることは何かなど、積極的に質問がありとても感心した。こちらも利用者が喜んでくださり、コロナ禍の事業所だったところが、ほんわか優しい気持ちに戻れた気がします。ありがとうございます。

○職場体験に来てくれた中学生が休憩時間の途中で「庭にたくさん落ち葉があるので掃除をしてもいいですか」と声をかけてくれ、自ら進んで庭のお掃除をしてくれてとても感心した。

・仕事の教えに返事をしてほしい。

・生徒が集合時間になっても来ないので心配した。遅刻をするようなら必ず連絡をしていただきたい。

・朝の挨拶、帰りの挨拶がきちんとできると良いと思う。 ・医療福祉施設に爪をかなり伸ばして参加した子がいたが、学校でも指導していただきたい。

(2) 次年度の方角

①事前学習の充実（何のために行くのか目的をもつ、やりたい仕事を体験するのではない） ②基本3日間の職場体験 ③事後学習の充実（目的についての振り返り、級友との共有、まとめや発信） ④人とつながる力は、日常生活や特別活動、家庭との連携からも育む ⑤登り旗は学校の負担にならないように事務局で行う ⑥コロナが5類になったことにより、学校独自のキャリアアフェスや職場見学、職場講演会などカリキュラムマネジメントしながら、負担にならないように整理していく。

令和5年度 高校と連携して実施した主な事業

飯田市産業振興課

1 飯田女子高校 「総合社会」

対象：2学年「総合社会」を選択している学生 約30人

2学年「総合社会」の授業の中で、学生が地域で働く様々な業界の方から話を聞きました。

- 6月12日(月) シルクホテル【接客・サービス】
- 6月12日(月) アフロディーテ【美容師】
- 11月13日(月) (株)アイスク【インストラクター】
- 12月11日(月) シズン時計マンユファクチャリング(株)【製造業】
- 12月11日(月) (株)丸中中根園【飲食・サービス】



(株)アイスクさんによるガイダンス

2 阿南高校「校内企業説明会」

対象：2学年全員 約40人 日時：11月9日(木) 13時30分～14時40分

就職のミスマッチを無くすため、本格的に就活をはじめ前の高校2年生が各産業分野の理解を深めることを目的として、校内企業説明会を実施しました。

企業が高校に集まりブースを構え、高校生は興味のある事業所を2つ選択して聴講しました

※当初は、校内企業説明会を7月に実施し、希望者は夏季休暇中に職場体験をする予定でしたが、大雨による休校により、説明会を11月に開催することになりました。

<参加事業所>

- | | |
|-------------|---------|
| (株)トヨタUグループ | (株)コバコン |
| シルクホテル | 天恵製菓(株) |
| (株)NEXAS | 信菱電機(株) |
| 山京インテック(株) | (株)乾光精機 |
| みなみ信州農協 | KOA株式会社 |
| 飯田市役所 | |



3 飯田風越高校「職業学習」(職業ガイダンス)

1月18日(木) 14時25分～16時15分

対象：1・2年生 約400人 日時：1月18日(木) 14時25分～16時15分

進学後の地元就職に対する関心を高めてもらうことを目的に、地域の11事業所に参加いただき17の職種・業種のガイダンスを実施しました。全体講義では地域の雇用状況と就職に向けた心構えについてハローワーク飯田の指導員の方にお話をいただき、その後、学生は2つの職業分野を選択し、講師の話を聞きました。

<参加事業所>

- | | |
|-----------|---------------------|
| 健和会病院 | シルクホテル中田製絲(株) |
| 多摩川精機(株) | シズン時計マンユファクチャリング(株) |
| 信菱電機(株) | みなみ信州農協 |
| 長姫調査設計(株) | 飯伊美容師会 |
| 神稲建設(株) | 山本保育園・鼎みつば保育園 |
| 飯田市役所 | 飯田市社会福祉協議会 |

※健和会病院は「看護師」「薬剤師」「リハビリ」「栄養士」「放射線技師」「臨床工学技士」が参加

4 飯田風越高校「F-STYLE トークセッション」(探究学習)

対象：2年生の希望者

学生が主体的に課題を設定し、解決に向けて取り組む「探究学習」のテーマ設定のきっかけとするため、地域のあらゆる活動について学ぶ学習活動の一つとして、地元企業の方にお話をいただきました。

- 5月29日(月) 文吾林造園(株)
- 6月5日(月) (有)矢守産業【林業】
- 6月19日(月) 神稲建設(株)【建設業】



令和5年度 飯田市キャリア教育推進フォーラム アンケートのまとめ

期日：令和6年2月10日（土）13：00～16：00

会場：飯田市鼎文化センター

参加者：228名（昨年度209名） *（）昨年度

事前申し込み193名（197名）
 その内参加者175名（175名）
 当日参加者53名（33名）

I 参加者228名(209名)内訳（事務局含める） (名)

園児	小学生	中学生	高校生	学生	園学校職	PTA・家族	産業界	行政機関	地域の方	その他
1(0)	12(5)	27(28)	4(8)	4(4)	71(77)	35(26)	11(8)	48(38)	9(14)	6(1)

II アンケート回答者81名(79名)内訳 (名)

小学生	中学生	高校生	学生	園学校職員	PTA・家族	産業界	行政機関	地域の方	その他
5(1)	14(7)	1(1)	4(3)	30(37)	6(11)	2(3)	8(5)	9(11)	2(0)

III フォーラムの満足度

質問：飯田市では、私と地域の未来を切りひらいていく「地育力」を活用した「飯田型キャリア教育」（パンフレット裏面参照）を進めています。本日のフォーラムはいかがでしたか。 (名)

①満足	②おおむね満足	③やや不満	④不満	⑤その他	○印なし
56(46)	20(29)	1(0)	0(0)	0(0)	4(4)

※やや不満の理由：いい発表だが時間が長かった

IV 感想やご意見（抜粋）

第I部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育の実践発表について

- ・本当に皆さんの活動がすごかったです。中でも竜東中のキャンプ場のプロデュースがすごかったです。「本気の大人」に出会い、本当にあるかのようなキャンプ場の構想がすごかったです。(小学生)
- ・様々な地域とつながる活動を知って、自分の学校に足りないこととか、もっとこうしたらいいのではないかと思います。ことができました。とても興味深かったです。(中学生)
- ・龍江小学校の6年生は、自分達の地域の課題を見つけるだけでなく、その課題を解決するために自分たちができることを考えて実行するのはすごいと思いました。(中学生)
- ・私たちは全員地元への就職を希望しているため、もっと身近な課題について考えていくことが必要と感じた。大きくなるにつれ、人に聴くことが恥ずかしくなっていたが、経験豊かな人たちに教えてもらうことは、伝統に関わらず、就職しても必要だと思った。(専門学校生)
- ・三穂保育園から、全てのことに「知りたい」「学びたい」があるのだと改めて園児の皆さんの姿から学ばせていただきました。学びを支える先生方の覚悟を感じました。子どもの力はすごい！！(園・学校職員)
- ・飯田女子高校、飯田コアカレッジの発表について、現状の課題や困っていることを捉える力が素晴らしいと感じました。また、その課題を解決するために、何をすべきか考える力があり、聞いていてわかりやすかったです。結いジュニアリーダーの7回の活動の充実が伝わる内容でした。1つ1つのつながり、これからに向けての活動がさらに発展していくことを祈っています。(園・学校職員)
- ・中学校のキャリア教育担当として1番考えさせられたのが、高校以上の方の取組で、「うまくいかなかった」ことでした。中学校の総合的な学習の時間では、先生としてついつい「準備をし過ぎてしまう」ことで、「人を動かすって難しい」や「うまくいかなかったからこう改善してみた」といった学びの機会を逃がしてしまっていたかも、と感じ、発表者の方々の学び方、くじけず努力する姿に感動しました。(園・学校職員)
- ・自分事となる学習、そして、それを支える教師、地域、行政。指示し、教え、導く教育から、信じ、支え、励ます

教育へ。地域の大人の覚悟も問われることと思いました。(園・学校職員)

- ・自分の子が参加したことで、初めてこのような活動をしているのだと知りましたが、自分達が学習することで、色々なことを学び、未来の教育へ広げていける活動なのだと感じました。今後も幅広く大勢の子供達、大人に知ってほしいと思います。(PTA・保護者・家族)
- ・三穂小、龍江小、竜東中の体験を通して成長している姿に感動しました。変化が激しい現代社会を生き抜いていく子どもたちにとってこうした経験が、必ずプラスに働いていくのだと思います。素晴らしい実践でした。(行政機関)
- ・発表を終えた後に、小学生、中学生が自分なりの意見を発表しました。これこそが、キャリア教育の成果だと思います。一生懸命考え、行動したので、考える力、発表する力がついたと思います。(地域の方)

第Ⅱ部 パネルディスカッション テーマ：若者の皆さんと一緒に、私と地域の未来を考えよう

- ・難しかった。地域のことを深く考えられた。皆さんの話から、ぼくのこれからの人生の参考になりました。(小学生)
- ・種は既にたくさんまかれているので、その種を自ら拾い、自分を成長させていきたいと感じました。(中学生)
- ・とても面白かったです。3名のパネリストの皆さんが本当に魅力的で、元気をもらいました。若者たちが、現実と正面から向き合い、飾らぬ言葉で語ってくれて、心動かされました。山浦先生のお話のされ方、繋ぎ方、まとめ方も勉強になりました。自分も地域の方とつながり続けたいと思いました。(園・学校職員)
- ・“地域ってどんな存在？”って、難しい質問だと思いました。矢澤さんのお話ではありませんが、生活できることはまず必要なことで、理想はあるが現実があるので、悩みます。カンボジアのお子さんたちの笑顔ではないですが、幸せを感じられる生き方ができるか、自分が。悩みながら、今を精一杯生きている若い方に元気をもらいました。今、頑張らなくてはいけないのは自分たちだと。あの若い方々の未来のために、「未来への種をまく」のは自分たちだと思いました。(園・学校職員)
- ・赤羽さんの「種は沢山落ちている」という話が印象的でした。種を拾ってみて、経験すること、考えること、これは自分の未来にとって決してマイナスなことではないと思います。素晴らしいディスカッションでした。(PTA・保護者・家族)

その他、全体を通してお気づきの点

- ・発表の間に感想タイムがありました。自分の座っている位置的に発表された方々がよく見えたのですが、誰かが感想を言う度に、小中高生が一斉にその方に顔・目・耳・体を向け、じっと聞いている姿に、フォーラムの成果というか、発表体験をされた方々が一生懸命取り組んだことに、どんな反応をもらえるのか、とても興味深く耳を傾けていたと思います。とても目がキラキラしていました。その感想を受け、また次にどうしようか・どうしたいか？！考えて取り組んでいくことができ、つながっていけると思います。幼児期から大学、社会人の人までが、各々の学びを発表し、学びの幅を広げていく場として、とても大事な会だと思いました。その会を司会進行しているジュニアリーダーさん達の姿が素敵でした。生きる力の1つになると思いました。(園・学校職員)
- ・園小中高大社会人でそのパッケージというか、飯田市が培ってきたそういうものの全体像を感じられた。普段はどうしても高校でやってるという意識が強いが、飯田市の中の一高校としてだとか、そういうもう少し広い視点で考える機会をいただいた。(園・学校職員)
- ・レベルの高い発表でした。昨年も参加したが、企業の参加はどのくらいあるのか知りたい。多くの企業は知らないと思う。今日のようなキャリア教育の取組を企業でも広めていきたい。(産業界)
- ・小学生のお子さんが、あの広い会場で堂々と発言している姿が頼もしかったです。「本気の大人との出会い」が子どもたちを動かしていくと強く感じる場面がありました。もっともっと学校と地域が繋がって、みんなで学び合える地域にしていきたいです。そのために何ができるか考えたいと思いました。良い会でした。(地域の方)

《全体考察》

実践発表やパネルディスカッション、会場からの積極的な感想や意見交流を通して、様々な年代や業種の方々と飯田市で取り組むキャリア教育の理解が深まったように感じる。更に広げていきたい。

子どもと親が共に育ち合う家庭共有

わが家の結いタイム

～ 家族のふれあいのために～

家庭は全ての教育の出発点です。子どもにとって「家庭」は安らぎのある楽しい場所であり、社会へ巣立っていくために欠かせない場所です。

飯田市では家族のふれあいのひと時を「わが家の結いタイム」と名付け推進しています。まずは、「あいさつ」「会話」「お手伝い」「読書」の身近な4つの取組みから始めてみませんか。

あいさつ

あいさつは人と人とのより良い関係を作るための第一歩です。

“おはよう” “いただきます” “ありがとう” “ごめんなさい” まずは家族の中で自分からあいさつする習慣をつけましょう。

会話

メールやケータイ・スマホばかりではなく、お互いの顔を見ながら心と心、言葉と言葉で会話をしましょう。食事の時間、入浴の時間、送迎の車の中で、親子のふれあいのひと時を楽しみましょう。

地域



家庭

企業

学校

お手伝い

食事の準備や片づけ、掃除などのやり方を親から子に伝える時間は、そのまま家族のふれあいの時間になります。「お手伝いありがとう」の感謝の気持ちを伝えることも大切です。

読書

家族で同じ本を読んだり、読んだ本を紹介し合ったり、料理の本などを読んで一緒に作ったり、家族で一緒に図書館や書店に行くこともおすすめです。

行政

各ご家庭で、できることから始めてみましょう！

他のご家庭の取組
(三行詩コンクール入選作品)



イベント情報はこちら
(結いびらIDA)





家族のふれあいをワークライフバランスから

パートナー企業
募集中!

わが家の結いタイム

パートナー企業認定制度



飯田市教育委員会では、家族と一緒に過ごし、心を通わせるひと時を「わが家の結いタイム」と名づけ、啓発・推進しています。家庭と仕事を両立しながらいきいきと働き続けられる職場の実現に向け、「わが家の結いタイム」の趣旨に賛同し、取り組んでいただける企業を募集します!



わが家の結いタイムパートナー企業に認定されると…

飯田市でPR! 広報いいだでも公表

認定企業を飯田市のホームページで公開します。また、年に3回の推進月間（7月、11月、2月）には広報いいだでも公表します。

イメージUP!

家庭と仕事を両立しながらいきいきと働き続けられる職場であるとのイメージアップにつながります。

啓発アイテムも

啓発アイテム（ロゴデータ、テーマソング、のぼり旗、チャレンジカード他）を提供いたしますのでご活用ください。

ご興味を持たれたら **まずはお問合せください!**

応募は簡単2ステップ

Step1

お問い合わせください!
パートナー企業認定制度についてご説明に伺います

お電話

0265-22-4511(内線 3741)

または

メール

shougai@city.iida.nagano.jp

件名「結いタイムパートナー企業応募」にてお送りください

Step2

会社としての取組をまとめて、
飯田市教育委員会へご提出
いただきます

飯田市教育委員会内で内容を確認し、
認定させていただきます。

例えばこんな取組みを…

- 企業としての結いの日を定めて、のぼり旗などでわが家の結いタイムをPRする
- 昼休みなどにわが家の結いタイムのテーマソングを流す
- わが家の結いタイム三行詩コンクールへの応募を呼びかける
- 家族で参加できる地域行事への参加を呼びかける
(夏祭り、いいだ人形劇フェスタ、風越登山マラソンなど)
- その他、趣旨に沿ったオリジナルの取組大歓迎です!



※年度末にはアンケートにご協力いただいております。好事例を横展開し、わが家の結いタイムの輪を広げていきます。

詳細はウェブサイトからも
ご覧いただけます



飯田市ホームページ
パートナー企業認定制度のご案内



三行詩コンクール
入選作品はこちら

飯田市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
〒395-0053 長野県飯田市大久保町 2534

電話 0265-22-4511(内線 3741)
メール shougai@city.iida.nagano.jp